

# 更農

発行所 高等学校会  
 更級農業窓  
 同窓会  
 長野市篠ノ井布施高田  
 200  
 至 人子樹  
 正 集 妙裕  
 發行 井井  
 越 編 山野  
 笠印  
 印刷 株式會社  
 中外印刷

## 更なるご支援を！

同窓会長 越 正 至



会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃、同窓会活動、支会の活動、母校へのご支援を始め、諸活動にご尽力を頂き厚く御礼を

申し上げます。さて、五月から新型コロナウイルスもインフルエンザと同様の五類感染症に分類されたことから、社会活動も通常の状態に戻りつつあります。そんな中で四年ぶりに六月に開催した総会には、懇親会を含め大勢の皆様方のご参加を頂き、久々の懇談を深めるこ

とができました。本会における今後の活動の重点事項として、長野県高校教育の変革期を迎える中、少子化に伴う生徒数の減少から、高校の統廃合を考える「高校改革」夢に挑戦する学

び「再編・整備計画【三次】」が県教委より一月に示されました。この実施方針では、旧第四通学区にある更級農業高校と、松代高校商業科、屋代南高校家庭科の再編統合により、校地を定めて「長野千曲総合技術新校」の設置を提案

しては、子供たちの将来を考えた時、生徒が自らの夢に挑戦することが出来る「新たな学び」と、「新たな高校づくり」を推進する再編・整備計画には、一定の理解は必要であると考え、本会としても取り組んでいかなければなりません。

このようなことから、創立120周年を令和八年に迎える歴史ある本校としては、地域の皆様方と一体となって、新たな学びの地として存続させることが重要だと考え、二

## 「新たな学びへ」

学校長 武藤 稜



同窓会の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育環境整備やクラブ活動等にご支援を賜り、誠に

ありがとうございます。本年度より校長として更級農業高校に赴任いたしました武藤と申します。どうぞよろしくお

願います。ここ数年コロナウイルス感

染症対策のため、多くの教育活動が制限されておりましたが、本年度に入りようやく以前のような学校の姿を取り戻し、行事や地域での学習をはじめとする教育活動が行われています。最近の学校行事を少し振り返ると、十月の十三日から十五日に行われた更農祭では、日々の学習の成果として農産物の校内販売や展示

見学等を実施し、二千名を超える来校者の皆様に本校の学習内容を知っていただくことも、楽しんでいただくことができました。また、同じく十月に二学年の修学旅行を三

泊四日の日程で実施しました。生徒の自主性を重視し見学日程をそれぞれが立案し、金沢、京都、大阪で研修を深めました。農業科の学習では、善光寺花回廊への参加、小森ナスの信州伝統野菜登録へ向けての取り組み、綿栽培による休耕田の活用を目指す活動等、地域での協働的な学びが行われています。農業クラブ全国大会熊本大会では、農業鑑定競技会に出場した四名全員が優秀賞を獲得するなど活躍しました。

人口減少・少子高齢化社会を迎える中、今年一月に示された第三次高校再編・整備計画において、本校・松代高校商業科・屋代南高校家庭科を再編し、総合技術高校とする案が示されました。農業の学

お願います。今後とも、同窓生の皆様方のご支援とご協力をよろしく

お願いいたします。

お願いたします。

お願いたします。

お願いたします。

お願いたします。

お願いたします。

## 農場報告

農場主任 武内伸之

今年度は新型コロナウイルスの影響による行動制限も解除されたことから、4月より様々なイベントに参加することができました。各イベントでは多くの方に学校の生産物を購入していただきまし

また、気温については、記録的な猛暑が続いた夏でした。このことは皆さんも記憶に新しいと思います。特に七月から九月にかけては三十五度を記録する日が多くあり、我々にとっても植物にとっても厳しい気温となりました。

このような気候の中でした

が、各部門の栽培状況は以下のとおりです。さて、今年の気候ですが、降水量を見ると、五月六月の降水量が多いことがわかります。また、七月から十月にかけての降水量は平年よりも少なくまりました。この雨の降り方は部門によっては作物の生育に大きな影響を与えまし

減少してしまいました。

### 副会長就任あいさつ

同窓会副会長  
所 公雄

野菜部門の路地ものは高温障害と雨不足により生育が不良となつてしまいました。しかし、施設栽培に関しては平年並みの収量となりました。昨年度導入された水耕栽培は薬物野菜を中心に順調に栽培を行うことができました。花部門では、施設内の温度管理には苦労しましたが、草花の生育自体は良好で多くの方に楽しんでいただいています。

果樹部門は平年並みの収量でした。開花や収穫のタイミングは例年より1週間から十日ほど早まりましたが、夏の高温小雨の影響は少なく果樹の収量や品質には気候の影響はそれほど見られませんでした。

加工部門では、加工トマトの収量が見込みより少なくなりましたが、加工品は予定通り製造することができました。

また、四名が出場した農業クラブ全国大会農業鑑定競技農業鑑定競技では、四名全員が優秀賞を獲得することができました。これ以外の活躍も数多くあり、表彰や新聞報道、テレビの取材など今年度も多くの生徒の活躍が見られました。

今後とも様々な活動を通して、地域から必要とされる学校を目指して行きたいと考えています。

### 監事就任にあたり

同窓会監事  
寺澤 伸司

更級農業高校同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私、令和五年五月に開催されました同窓会総会におきまして、藤岡俊文副会長の後任として副会長に就任致しました所 公雄（昭和四十七年農業科卒）でございます。

伝統ある更級農同窓会は、歴代の正副会長はじめ多くの役員の皆様、同窓生や教職員の皆様など、多くの役員の皆様御尽力により築かれてまいりました。

それを思いますと身が引き締まる思いであります。さて、県教育委員会では、社会の大きな変化と急激な少子化のなか、「新たな学びの推進」と「新たな高校づくり（再編・整備）」を両論として一体的に高校改変三次（案）が示されております。

多くの皆様が築き上げられた更級農同窓会の更なる発展のために、諸先輩をはじめ皆様の御協力をいただきながら武藤校長先生、教職員並びに事務局と連携を図り会長を補佐し務めてまいりますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。

退職前の五十八歳で家業の農業の手伝いをし、父が亡くなった後は、農業経営者として頑張っています。その間に、高校の統廃合を考える「再編・整備計画案」が示されました、地域の皆様と一緒に現在の地域に存続できるといふ取り組みたいと思っております。

監事就任にあたりご挨拶申し上げます。島田一敏さんの後任として選出されました寺澤伸司です。卒業年次は、昭和四十八年で越会長と同じです、卒業して五十年が経過しこの年で大役を引き受けることになり大変恐縮しております。

私は、学校卒業後公務員となり、県外勤務を経験し定年退職前の五十八歳で家業の農業の手伝いをし、父が亡くなった後は、農業経営者として頑張っています。

その間に、高校の統廃合を考える「再編・整備計画案」が示されました、地域の皆様と一緒に現在の地域に存続できるといふ取り組みたいと思っております。

それと同時に創立120年を迎える本校の同窓会をどう存続させるかも考えなければなりません、越会長と共に頑張りたいと思います。

コロナ前の姿に戻すことを考えて活動をしてきました。最初は全く思い通りにできず、苦戦する毎日でした。ですが、活動を終えた今では、「生徒会長になってとても良かった」と思っています。

コロナ前の姿に戻りました。新しい姿に慣れず、苦戦する毎日でした。ですが、活動を終えた今では、「生徒会長になってとても良かった」と思っています。

今年度は、制限なしの一般公開がされ、本校生徒だけではなく、地域の方や本校の卒業生など多くの方に楽しんでいただきました。昨年に引き続き、SBC信越放送「夢テレビ」の企画、高校生マルシェに参加させていただき、各コースで栽培された作物や加工品を販売し、たくさんの方に購入していただきました。

また、今年度、更級農業高校は県連事務局を担当しているの他の県連事務局の会長の方とお話する機会があり、他の県での取り組みなどが聞け、貴重な体験ができました。この経験を来年度以降も活かす、より良い農業クラブを作り上げたいと思います。

生徒会長 轟 萌華  
本年度の生徒会活動は、コ

### 一年を振り返って

農業クラブ会長  
杉崎 太一

今年度は、制限なしの一般公開がされ、本校生徒だけではなく、地域の方や本校の卒業生など多くの方に楽しんでいただきました。昨年に引き続き、SBC信越放送「夢テレビ」の企画、高校生マルシェに参加させていただき、各コースで栽培された作物や加工品を販売し、たくさんの方に購入していただきました。

また、今年度、更級農業高校は県連事務局を担当しているの他の県連事務局の会長の方とお話する機会があり、他の県での取り組みなどが聞け、貴重な体験ができました。この経験を来年度以降も活かす、より良い農業クラブを作り上げたいと思います。

生徒会長という立場になり、様々な経験をさせていただけしたのは、たくさんの方の協力でくださった先生方、共に盛り上げてくれた全校の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。

今年度は、制限なしの一般公開がされ、本校生徒だけではなく、地域の方や本校の卒業生など多くの方に楽しんでいただきました。昨年に引き続き、SBC信越放送「夢テレビ」の企画、高校生マルシェに参加させていただき、各コースで栽培された作物や加工品を販売し、たくさんの方に購入していただきました。

また、今年度、更級農業高校は県連事務局を担当しているの他の県連事務局の会長の方とお話する機会があり、他の県での取り組みなどが聞け、貴重な体験ができました。この経験を来年度以降も活かす、より良い農業クラブを作り上げたいと思います。

生徒会長という立場になり、様々な経験をさせていただけしたのは、たくさんの方の協力でくださった先生方、共に盛り上げてくれた全校の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。

今年度は、制限なしの一般公開がされ、本校生徒だけではなく、地域の方や本校の卒業生など多くの方に楽しんでいただきました。昨年に引き続き、SBC信越放送「夢テレビ」の企画、高校生マルシェに参加させていただき、各コースで栽培された作物や加工品を販売し、たくさんの方に購入していただきました。

また、今年度、更級農業高校は県連事務局を担当しているの他の県連事務局の会長の方とお話する機会があり、他の県での取り組みなどが聞け、貴重な体験ができました。この経験を来年度以降も活かす、より良い農業クラブを作り上げたいと思います。

生徒会長 轟 萌華  
本年度の生徒会活動は、コ

### 現役生徒より

#### 生徒会活動を振り返って

生徒会長 轟 萌華  
本年度の生徒会活動は、コ

した。参加することになった理由は、校内の農業鑑定競技の結果から選抜されたからです。校内で選抜されたときは、とても驚きました。勉強は六月から始めました。出題項目がとて多く、驚いたことは今でも忘れていません。はじめは、ノートは夏休みが終わるくらいまでにとめるといふことになっていました。しかし自分への甘さが出てしまい、ノートをまとめ終えたのは九月の終わり頃になってしまいました。しかし勉強を教えてくれた先生たちは、ずっと勉強を教え続けてくれました。そしてノートをまとめ終えると、過去の問題集を満点が取れるようになるまで繰り返し解きました。

そしてついに熊本へ向かう日がやってきました。熊本に着くと、全国大会のポスター

全国大会に参加して

私は熊本県で行われた、学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技・食品の部に参加しま

全国大会に参加して

私は熊本県で行われた、学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技・食品の部に参加しま

全国大会に参加して

私は熊本県で行われた、学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技・食品の部に参加しま

全国大会に参加して

私は熊本県で行われた、学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技・食品の部に参加しま



農業鑑定

が駅構内に飾られていまし  
た。そこで私は農業クラブの  
規模の大きさは想像以上の  
ものであるという事がわかりま  
した。会場で受験票を受け取  
ったとき、ようやく試験を受  
けるのだと思いました。受験  
者の控室には沢山の人がい  
て、それぞれとても緊張感  
がありました。そして競技が始  
まると、問題には先生が重点  
的に教えてくれたところがた  
くさん出題されました。そ  
の後、公開された正答を見て  
みると多くの問題があつてい  
ました。次の日の朝、先生から  
入賞者の名前を見せてもら  
いました。すると、私の名前が  
入っていました。さらに、本  
校で競技に出場した全員が入  
っていました。みんなで喜び  
合いました。結果は優秀賞で  
した。そして表彰式を終えて  
全国大会の日程が終了しまし  
た。

### 全国大会に出場して

三年三組 大関 梵蒼

私は、熊本で行われた学校  
農業クラブ全国農業鑑定・園  
芸の部に参加させていただき  
ました。全国大会に行つてみ  
たいという気持ちは一年生の  
時からありましたが今年にな  
って本当に自分が行けるとは  
思いもしませんでした。

全国農業鑑定の話は進みい  
よいよ勉強に本腰を入れなく  
てはと思い、夏休み前から勉  
強を始めました。放課後ギリ  
ギリまで残つて勉強をし、休  
みの日も机と向き合いひたす  
ら書き続けました。忙しい中  
なのにも関わらず私の質問に  
答えてくださった先生には頭  
が上がりません。そんな時間  
もあつたという間に過ぎてしま  
い私は今年度の全国農業鑑  
定開催の場熊本へ行きまし  
た。そして農鑑本番、今まで

われ、全てが終わりました。  
三年の最後にこのような経験  
ができて良かったです。次の  
年の子達にも期待していま  
す。最後に、応援してくれた  
沢山の方々、支えてくださっ  
た先生方本当にありがとうございました。

### 全国大会に出場して

一年二組 古島 かなた

私は農業鑑定競技・分野園  
芸で出場しました。一年生で  
の出場ということもあり、二  
年三年とまだ出場のチャン  
スがあり、気持ちには余裕が  
ありました。ノートを作るこ  
とは得意ではなく、自分に合  
う、自分が楽しめる方法で勉  
強していきました。夏休みか  
ら勉強を始め、ゆつくりと勉  
強を進めていきました。勉強  
を始めた頃では、全国大会に  
出場できた嬉しさで、優秀賞  
など頭になく、出場できたこ

感じることのない不安と緊張  
にかられ自分の時が来るのを  
待っていました。実際に解き  
始めるとおまわりにも早く時  
間が過ぎてしまいとても焦りま  
した。自己採点のときも焦つ  
ていたせいで何を書いたか自  
分でも全く覚えていませんで  
した。次の日、私は先生か  
ら結果を伝えられました。本  
当に嬉しかったです。今まで  
の努力が報われたことと何よ  
り、全員が優秀賞をもらえた  
ことが、その後は表彰式が行

とと、全国大会の経験を積み  
ることで満足していました。  
競技会場へ向かうバスの中、  
ついに来た本番にワクワクし  
ながら、実力を出し切るため  
に集中力を高め、到着を待ち  
ました。本番前の控室には、  
いかにも勉強が得意そうな人  
がとても多く、雰囲気呑ま  
れそうになりました。競技の  
問題には、全く知らない単語  
があり、実力不足を感じなが  
らも、普段通りに解いていき  
ました。大会を終えて、競技  
は満足のいく出来ではなく、  
優秀賞を取れたことも、自分  
ではラッキーだと思っていま  
す。ノート作りの改善や、本  
番を経験したことで、掴めた  
ことも多く、まだまだやれる  
気がするので、来年度再来年  
ども、楽しんでいきたいと思  
います。

### 全国大会に出場して

一年二組 迫田 直人

先生たちからは、たくさん  
のお褒めの言葉をいただきま  
した。とても嬉しかったです。  
今回の体験から全国大会の  
レベルの高さを痛感しまし  
た。私の出場はこれで最後に  
なりますが、後輩には頑張っ  
てほしいと思います。

最後に今回の出場にあた  
り、応援してくださいました先  
生方、遅くまで勉強を教えてく  
ださった先生方、本当にあり  
がとうございました。

私は今年農業クラブ全国  
大会に分野農業で出場しまし  
た。私はまだ一年生なので、  
候補に選別されたときはとて  
も驚きました。その後、決戦  
農鑑を経て、全国大会メンバ  
ーに選別され、全国大会に出  
場することになりました。

私は農業鑑定について、入  
学してから先生から聞いて知  
りました。そして、その存在  
を知ったときは、絶対に行き  
たい、そう思いました。なの

で、今回かせていただいで  
とても嬉しかったです。また、  
農業鑑定の勉強をするにあた  
って先生から、600項目を  
まとめて覚えて、と言われた  
とき、量がとても多くてもう  
無理なんじゃないか、と思い  
ました。実際手も思うように  
動かず夏休みもあつと言う間  
に終わってしまいました。こ  
のままでは駄目だ、そう思い  
夏休み終わりから、自分でま  
とめたノートを戻し、毎朝  
早く学校に来て、過去の問題  
に取り組みました。

いざ当日になると緊張し  
ぎて頭が真っ白になりかけま  
した。それでもわからない問  
題をしっかりと埋めました。そ  
の後HPで出た答えと自分の  
答案を照らし合わせたら、25  
点もいってなくて、もう優  
秀賞は取れないな、そう思い  
ました。しかし次の日、なん  
と先生に見せられた優秀賞受  
賞者の表に自分の名前が載っ  
ていました。まさかとは思  
いましたがそれを見て、信じ  
られませんでした。式典会場  
に行き、ようやく優秀賞取れ  
たんだ、と自覚すると同時に  
嬉しさが込み上がってきました。  
また式典で最優秀賞を取  
った方を見て、凄いな、と思  
いました。



式典会場

その次の日は、太宰府天満  
宮にお参りをして電車で揺ら  
れ、長野に帰ってきました。  
また、来年度も校内農業鑑定

で選抜されるように勉強を  
し、来年は最優秀賞を目指  
して頑張りたいです

### 更農祭を終えて

更農祭実行委員長 深石 兜斗

更農祭が無事幕を閉じまし  
た。ご協力して下さった皆さ  
ん、本当にありがとうございました。今年度はコロナ禍の  
影響で中々できなかった一般  
公開が数年ぶりに行うこと  
ができるということで、新し  
いことに挑戦したいと様々  
なことにチャレンジし、全員が  
初めて経験する更農祭でし  
初めに経験する更農祭でし  
た。前例のない中、新しいこ  
とを始めには多くの課題が  
ありました。何度も話し合い、  
ときにはぶつかり合うことも  
ありました。しかし、「最高  
の更農祭を作り上げたい」と  
いう気持ちは執行部役員全員  
が同じで、全員が意見を出し  
合い話し合うという過程がい  
ちもとなつてはとも重要で意  
味のあるものだったと実感し  
ています。更農祭が近づくに  
つれて一致団結していき、最  
後まで力を合わせてやり切る  
ことが出来、とても嬉しく、  
達成感に溢れています。全校  
の皆さんからの「楽しかつ  
た」という声が聞こえてくる  
度、辛かったことがありまし  
たが、更農祭実行委員長を引  
き受けて良かったと思いまし  
た。この経験は私の一生の財

産となりました。

アドバイスを下さった先生方、そして、更農祭に全力で取り組んでくれた在校生の皆さん、更農祭に関わった全ての方々に感謝しています。ありがとうございます。



文化祭

### 最優秀賞を受賞して

三年三組 塚田 琉生

コースの先生から「練習を積み重ねれば最優秀賞を狙える實力を持つているから、参加してみないか？」と言われましたが、私は表舞台に出るのが苦手な自信もなく、一度は断りました。しかし、私のことを評価してくれたことが、とても嬉しくこの競技会に出場するか前向きに考えるようになり、決心がつかず色々な先生に相談したところ「この経験は今しかできない」と言われ、せっかくなら挑戦してみようと思いい、出場を決めました。

### これまでの部活を振り返って

相撲部 竹内 恵

長野県では久しぶりの開催というところもあり、過去問題がないところからスタートしました。令和五年度の実施基準を参考にし、コースの先生に聞きながら練習を行いました。学校行事も重なり思っていたような練習ができず、一時は諦めようかと思いましたが、しかし、応援してくれる先生や友達、熱心に指導してくださっている先生のことを考え一生懸命頑張ろうと決めました。

私が相撲を始めたのは中学三年生のとき、当時の中学校の校長先生に誘われて、相撲クラブに参加したのが始まりでした。その頃から新型コロナウイルスの影響があり満足に稽古もできず、大会にも出られませんでしたが、そのこともあり、最初は中学三年生で辞める予定でした。しかし、高校まで続けようと思ったのが、先生方の存在です。

大会当日は会場の雰囲気や緊張もあり、普段の練習の成果が出せませんでした。周りの参加者は私よりも出来ている様子だったので、周りよりも進んでいない状況に不安を感じ、自信もなくし、賞を受賞することを諦めていました。しかし、審査では表の正確さが評価され、最優秀賞をいただくことができました。自分自身が出来ないと思っていたことが、評価され自信に繋がりが、大きな達成感を感じました。

申し込み直前まで参加するか悩んだけど、競技会に参加して良かったです。また、放課後に指導をしてくださったコースの先生方には感謝しています。先生方のアドバイスを指導がなければ、このような賞を受賞することはできませんでした。ありがとうございます。

## 新年次代議員紹介

### 年次代議員になって

年次代議員 宮林 知代

私は令和五年三月に更農農業高校を卒業し、年次代議員を務めさせていただくことになりました。在学中は環境科学コースに所属し主に地球温暖化などの環境問題について学習してきました。また、農業クラブ会長として他校との交流や農業行事の運営にも取り組んできました。その中で、コミュニケーションの大切さを学び、協調性と先のことを考えて行動する力を身につけることができました。就職先においても、その経験を生かして日々充実した毎日を送ることができています。また後輩の活動を見聞きし、コロナ禍前のような活動が増え、嬉しく思います。

農業高校を卒業し、年次代議員を務めさせていただくことになりました。在学中は施設園芸科果樹科学コースに所属し、主にリンゴやモモ、ブドウなどの専門的な栽培技術の学習をしてきました。そこでリンゴ・モモ栽培を始めるとし新たにブドウの栽培に挑戦することができました。進学の基礎の勉強に励んでいます。高校時代に学習したことを生かし、自分の五年後のなりたい姿ではバツとした目標ではなく具体的な目標設定をすることができたのは高校時代に習ったからこそだと思います。

### 年次代議員になって

年次代議員 丸山 光琉

私は令和五年の三月に更農



収穫祭

叙勲褒章  
祝意をこめてご紹介申し上げます。

- ◆瑞宝小綬章
- 岩倉 宏明様 (S47年卒)
- ◆瑞宝単光章
- 栗林 良夫様 (S55年卒)

### 編集後記

更農278号が発行でき會員各位にお届けします。年一回の発行ではありませんが、母校と支会、そして會員の皆様との橋渡しになれば幸いです。毎年各支部の支会長様には大変苦勞をいただきましたが會員の皆様は届けていただいております。本紙の配布方法について模索中ではありますが、昨年度より学校ホームページにて掲載を始めました。また、校内外における各行事の様子を随時掲載されています。学校ホームページのQRコードからもアクセスできますのでご利用ください。また、同窓生の方々のご活躍や地域の情報、学校に対するご意見ご要望がございましたら事務局までお寄せいただけますようお願い申し上げます。

